

# グリーン・オフィス滋賀 平成 28 年度取組結果概要

滋賀県低炭素社会づくり推進計画（以下「推進計画」という。）では、滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（平成 23 年滋賀県条例第 12 号。以下「条例」という。）第 9 条に基づき、毎年度、県域の温室効果ガスの排出量の実績値、および推進計画に掲げる県の取組の実施状況を取りまとめ、公表することとしています。

平成 28 年度（2016 年度）の県機関における温室効果ガス排出量の実績値、エネルギー使用量等の取組状況の概要は、次のとおりです。

## 1 目標値と実績の状況

下水道処理施設は除く（ただし、可燃ごみおよび用紙購入量については下水道処理施設も含む）

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	対前年度比	対26年度比	32年度目標(対26年度比)
温室効果ガス排出量	t-CO <sub>2</sub>	82,864	81,534	82,126					0.7 %	▲ 0.9 %	—
温室効果ガス排出量(※1)	t-CO <sub>2</sub>	82,864	80,448	84,536					5.1 %	2.0 %	▲ 9.0 %
エネルギー使用量(※2)	GJ	1,509,765	1,462,856	1,535,810					5.0 %	1.7 %	▲ 9.0 %
公用車燃料使用量	kl	2,002	1,929	1,857					▲ 3.8 %	▲ 7.3 %	▲ 6.0 %
可燃ごみ排出量	トン	709	687	677					▲ 1.4 %	▲ 4.4 %	基準年度実績以下
用紙購入量	千枚	149,082	150,917	149,515					▲ 0.9 %	0.3 %	基準年度実績以下

※1 電気の排出係数を平成 26 年度調整前排出係数で固定した場合（温室効果ガス排出量は、毎年電気の排出係数が変動することでも値が変動\*することから、県の自助努力による削減効果を分かりやすく評価するため。）

\*電気の排出係数は、H26：0.519、H27：0.528、H28：0.498（単位は kg-CO<sub>2</sub>/kWh）となる。

※2 エネルギー使用量は、電気、都市ガス、ガソリン等にそれぞれ係数をかけて算出。

- ・エネルギー使用量の増加の要因は、9 月以降の残暑や 2 月以降に気温が低かったことにより空調の使用が増加し、電気や都市ガス等の使用量が増加したことによる。
- ・公用車等燃料使用量は、エコドライブ等の実践により、平成 26 年度から順調に減少している。
- ・可燃ごみ排出量は、分別の徹底や古紙回収などのリサイクルの取組により、平成 26 年度から順調に減少している。
- ・用紙購入量は、印刷時の集約印刷や両面印刷、裏面利用、また会議のペーパーレス化等の実施により、平成 21 年度以降で初めて減少となった。

### （別掲）下水道処理施設

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	対前年度比	対26年度比	32年度目標(対26年度比)
温室効果ガス排出量	t-CO <sub>2</sub>	88,981	85,027	82,613					▲ 2.8 %	▲ 7.2 %	—
温室効果ガス排出量(※1)	t-CO <sub>2</sub>	88,981	84,445	83,756					▲ 0.8 %	▲ 5.9 %	92千t-CO <sub>2</sub>
エネルギー原単位(※2)		0.1878	0.1741	0.1754					0.8 %	▲ 6.6 %	▲1%/年

※1 電気の排出係数を平成 26 年度調整前排出係数で固定した場合（温室効果ガス排出量は、毎年電気の排出係数が変動することでも値が変動\*することから、県の自助努力による削減効果を分かりやすく評価するため。）

\*電気の排出係数は、H26：0.522、H27：0.531、H28：0.509（単位は kg-CO<sub>2</sub>/kWh）となる。

※2 エネルギー使用量（原油換算 kl）÷放流量（千 m<sup>3</sup>）

## 2 取組の実施概要

### (1) エネルギーの使用の合理化の推進に関する取組

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	対前年度比	対26年度比
エネルギー全体使用量	GJ	1,509,765	1,462,856	1,535,810					5.0 %	1.7 %
電気	kWh	115,514,212	113,800,126	117,779,233					3.5 %	2.0 %
都市ガス	m <sup>3</sup>	4,907,310	4,532,921	5,143,288					13.5 %	4.8 %
液化石油ガス	t	401	333	381					14.2 %	▲ 5.2 %
灯油	リットル	789,693	660,616	863,941					30.8 %	9.4 %
A重油	リットル	783,752	736,109	777,055					5.6 %	▲ 0.9 %
ガソリン	リットル	1,658,072	1,587,305	1,518,260					▲ 4.3 %	▲ 8.4 %
軽油	リットル	401,098	393,178	394,385					0.3 %	▲ 1.7 %

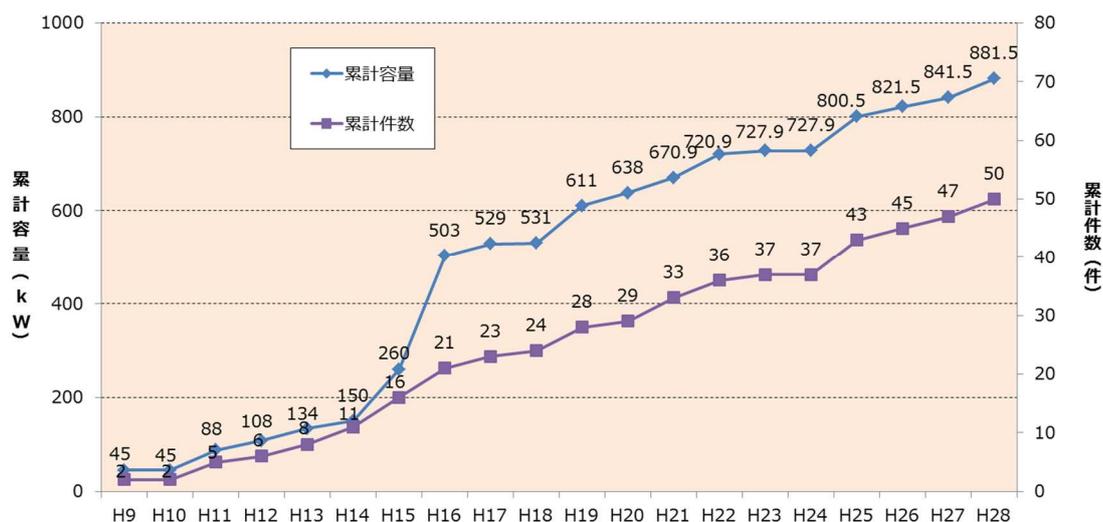
エネルギー全体の約7割以上を占める電気使用量は、平成26年度と比較して2.0%の増加となりました。

### (2) 自動車等の使用に伴う温室効果ガスの排出の抑制に関する取組

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	対前年度比	対26年度比	32年度目標 (対26年度比)
公用車燃料使用量	ℓ	2,001,943	1,928,908	1,856,556					▲ 3.8 %	▲ 7.3 %	▲ 6.0 %
ガソリン	ℓ	1,642,446	1,571,887	1,502,888					▲ 4.4 %	▲ 8.5 %	-
軽油	ℓ	359,497	357,021	353,668					▲ 0.9 %	▲ 1.6 %	-

ガソリンは前年度と比較すると4.4%の減少、軽油は0.9%の減少となりました。平成26年度と比較するとガソリンが8.5%の減少、軽油が1.6%の減少となり、全体では7.3%の減少となりました。

### (3) 再生可能エネルギーの利用の推進に関する取組



県施設での太陽光発電の累計件数は50件、累計容量は881.5kWであり、前年度より増加となりました。これによるCO<sub>2</sub>削減効果は約481t-CO<sub>2</sub>/年です。

(4) 環境物品等の調達の推進に関する取組

分野	品目	調達目標	平成28年度実績
物品	文具・紙・事務機器、車輛类等	グリーン購入判断基準に基づく調達率100%	96.4%

目標達成に向けて、引き続き「滋賀県グリーン購入基本方針」に基づき取組を進めています。

(5) 廃棄物の発生の抑制、再使用および再生利用その他資源の有効な利用であって温室効果ガスの排出の抑制に資するものに関する取組

○廃棄物の減量・リサイクルの推進の取組

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	対前年度比	対26年度比	32年度目標 (対26年度比)
可燃ごみ排出量	トン	708.5	686.7	677.0					▲ 1.4 %	▲ 4.4 %	基準年度実績 以下
古紙等リサイクル量	トン	517.5	533.0	554.5					4.0 %	7.1 %	—

可燃ごみ排出量は前年度と比較すると1.4%の減少、平成26年度と比較すると4.4%の減少となりました。また、古紙等リサイクル量は前年度と比較すると4.0%の増加、平成26年度と比較すると7.1%の増加となりました。

○紙類使用量の削減の取組

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	対前年度比	対26年度比	32年度目標 (対26年度比)
用紙購入量	千枚	149,082	150,917	149,515					▲ 0.9 %	0.3 %	基準年度実績 以下
PPC(普通紙)購入量	千枚	145,173	148,365	147,862					▲ 0.3 %	1.9 %	—
更紙購入量	千枚	3,909	2,552	1,653					▲ 35.2 %	▲ 57.7 %	—

用紙購入量は前年度と比較すると0.9%の減少、平成26年度と比較すると0.3%の増加となりました。

一方で、用紙購入量は平成21年度以降で初めて減少となりました。